

学習内容報告書 フォーマット

学校名	三重県鳥羽市立答志小学校
授業者	宮田 優

1. 単元計画

第1次	答志島の食材をもとに、オリジナルPIZZAを考えよう。
第2次	PIZZAの販売チラシを作成し、町の人に食材の良さを再アピールしよう。
第3次	倉世古さんから、地元をアピールする方法や、それを深める生き方について学ぼう。
	作ったPIZZAを食べて、答志島の食材の良さを深めよう。

1-1. 単元名

地元の食材の良さをもっと知ろう！広げよう！

1-2. 学年

6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

○答志島の良さを、多くの人に知ってもらうための活動とは何か、考え、企画する。

⇒答志島の食材を生かしたPIZZAのチラシ作り

⇒答志島の食材の良さ見つけ

○答志島の食材を外部に発信する良さを通し、PR活動の方法を体験的に学習する。

○PIZZAトラックを用い、移動販売をする倉世古さんの話を元に、将来への夢や希望について、チャレンジする大切さを知り、自分の将来の夢につなげる。

○地元から活動を発信した倉世古さんの話を元に、ふるさと（答志島）をもっと良くしたい！という思いを知り、自分を振り返る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

○地元の良さを再認識してもらう為、地元の食材”ちりめん、のり、等の海産物”を活用したピザを作ることで、自分たちの地元をより誇りに思ったり、好きになったりするきっかけを作る。

○地元の食材の利用の幅を知ることで、もっと「答志島」の良さを発信したいという思いを持たせる機会とする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

○自分の事や、地元を発信する力や、発信したいと思う態度
○自分達の地元をもっと知り、更なる良さに気づいたり、見つけようとしたりする態度

1-7. 単元の展開（全11時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	①PIZZAに合う食材で、答志島産で使えるものを出し合い、意見交流する。	○タブレットのロイロノートの機能を活用し、シンキングツールを活用させる。
2	②自分達で考えたオリジナルPIZZAを紹介するチラシ作りをする。 ・トッピングのイメージを考え、よりおいしそうな出来上がり図を作る。 ・見ている人が思わずたくさん買いたくなるような内容を考える。	○実際にPIZZAを食べてみて、その感想をチラシ作りに生かさせる。 ○リード文やキャッチコピーを意識し、チラシ作りをさせる。(国語科との関連)
1	③PIZZAをよりたくさんの人に買ってもらうための話し方を知り、実際に予約販売をする。	○学校の職員を相手に予約注文を取り、販売の難しさや伝えたらいい内容について知る活動を通し、チラシのブラッシュアップにつなげる。
5	④PIZZA作りをする。 ・倉世古さんから、PIZZA作り対する思いと、生き方についての話を聞く。 ・PIZZAの生地作り、焼き入れを体験する。	○実際にPIZZA作りをし、食べるものを作ることの難しさやこだわりを体験し、学ばせる。 ○人の生き方とその思いに触れさせ、自分とふるさととの関わりについて考えるきっかけとさせる。
1	⑤学習のふり返しをする。	

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 1 1 時間中の 2 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・ 答志島の食材から P I Z Z A に合うトッピングのイメージの考えを出し合い、決める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1、P I Z Z A 作りを通し、答志島をアピールすることを知る。</p> <p>2、タブレットのロイロノートのシンキングツール“ピラミッドチャート”を活用し、答志島と P I Z Z A を関連付ける食材を考える。</p> <p>3、それぞれの回答を共有し、一つのものとして作り上げる。</p> <p>4、出来上がった食材を基に、P I Z Z A チラシを作ることを知る。</p>	<p>・ 答志島！と言えばイメージできる食材を出し合わせる。</p> <p>・ ピラミッドチャートの(右図)の内容を説明し、選ぶ食材に順位付けをさせる。</p> <p>・ 回答共有する中で、ピラミッドのランクが高いものをピックアップし、それらを基に学級で選ぶ食材として決定させる。</p> <p>・ 次時の内容を伝え、イメージを膨らませる。</p> <p>・ 前時で食べた P I Z Z A を思い出させながら、宿題で、チラシの効果的なリード文やキャッチコピーを考えさせる。</p> <p><左図は出来上がった販売促進のチラシ></p>



3. 今回の活動の自己評価

○PIZZAのトッピングを考える活動を通じて、食材の活用の幅や食材の良さに気づいたりする姿があった。また、その中で話し合い活動も活発に行われた。

「答志島の土産物やでちりめんが良く売っているから、きっとおいしい。アピールにいい。」

「わかめはPIZZAには合わないかもしれないけど、何とか使えないか。」

「のりを使うには、どうやったらのりの良さを味わうことができるのか」

「エビを使えばいいけど、どのエビを使うと答志の良さが伝わるか。伊勢エビでは高すぎるか。」 等

○チラシ作りをするときに、国語で学習してきたポスターやリーフレットを作る活動とリンクするものがあり、既習事項を活用して意欲的に取り組む姿があった。

○伝える相手（チラシでは地域の人、販売では職員室の教員）を具体的に設定することで、発信することのイメージをもたせることができた。

4. 今後の課題

○実施時期をもっと早めることで、食以外の活動で答志島をアピールすることができる機会が増えるように思った。

○子ども達は意外に答志島独自の食材や、その良さを知らない。そのあたりの知識的な整備をする必要を感じた。（食べてみる、実際に食べている人の声を聞いてみる、等）

○海洋教育の観点からも、海産物をもっと意識して活動につなげる必要があった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

○PIZZAにこだわらず、地域の食材を使った活動で良い。

○地域の食材を活用するには、島の商店から確保方法について確認が必要。

○時期によっては答志島以外でないと、必要な食材が手に入らない。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。